

大好きなおばあちゃんを殺してしまった

11/4
金

黒髪を束ねたポニーテールに白いブラウス姿。今年9月、神戸地裁の証言台に立った小柄な女性(22)は年齢より幼く見えた。殺人罪に問われた被告の女性は同居していた祖母(当時90歳)の殺害を認め、「介護で寝られず、限界だった」と語った。親族から介護を一身に背負われ、仕事との両立に苦しんだ末の事件だった。幼稚園教諭として歩み始めたばかりの女性がなぜ、「大好きだったおばあちゃん」を手にかけたのか。裁判を傍聴し、関係者を取材して足跡をたどった。【韓光勲、春増翔太】

2019年10月8日早朝、神戸市須磨区の自宅で同居する祖母の口にタオルを押し込み、窒息死させた。

認知症の祖母には、徒歩5分圏内に住む3人の子供がいる。女性の父と伯父、叔母がすぐ近くに住んでいたにもかかわらず、介護は女性がほぼ一人で担った。こうした経緯には生い立ちが深く関係している。

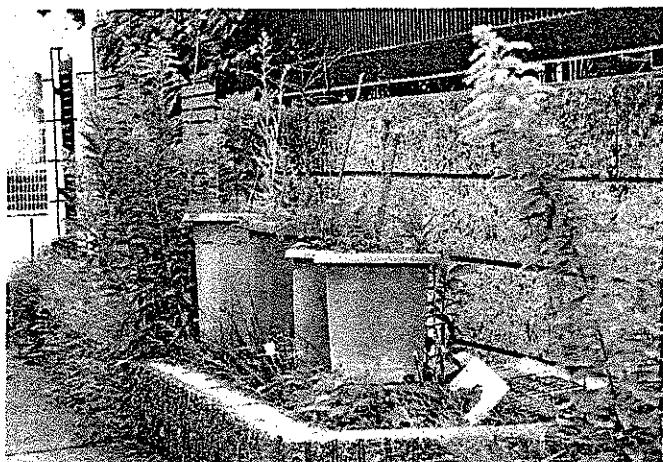
裁判によると、幼い頃に両親が離婚。ともに暮らした母は、小学1年生の時に脳出血で亡くなった。児童養護施設に移された女性を引き取つたのが、父方の祖母だった。この当時は祖父も含めた3人暮らし。祖母は短大までの学費や生活費の工面をしてくれ、ピアノも買っててくれた。女性は裁判の被告人質問で、「いろいろはるかに暮らした母のことを思って、おばあちゃんを一人にするのは危ない」と語った。

「あんたは金ばかりついた母親から生まれたんや」。存在を否定するような言葉を浴びせられることがしばしばあった。中学生になると、精神的なバランスを崩すようになり、睡眠薬を大量に飲んで何度も救急車で運ばれた。医師から「祖母と同居しない方がいい」と勧められ、今度は叔母宅に身を寄せることになった。短大時代になると睡眠薬も必要ななり、夢だった幼稚園教諭として働くことが決まった。

19年2月、祖母が自宅前の坂道で転んで入院。アルツハイマー型認知症と診断された。排せつなども自らできず、要介護「4」と認定された。退院後、自宅に戻った祖母は靴を履かずに深夜にうろついて近所の家の呼び鈴を鳴らすこともあった。「おばあちゃんを一人にするのは危ない」。これが親族の総意だった。

ただ誰が祖母を介護するのかが問題だった。神戸市内で清掃会社を営む伯父は仕事が忙しく、父には手足がしごれる病気があった。叔母にも小さい子供があり、手が離せない。

「おばあちゃんに学費を出してもうったんや。あんたが介護するのが当然やろ」。叔母の一声で、介護は女性が担うことになった。念願の幼稚園教諭として働き始めた1カ月後、7年ぶりに祖母との2人暮らしが始まった。そして人生の歯車が狂い始める。



事件現場となつた一戸建ての玄関先には植木鉢が荒れそのまま放置されていた=神戸市須磨区で10月23日、春増翔太撮影

22歳 介護の孤独

いろいろあつたけど、おばあちゃんのことは大好き。母が亡くなつた後に引き取つてくれてうれしかつた。私のことを一番に考えててくれ、幼稚園の先生になる夢をずっと応援してくれた」と証言。「生まれ変わつても、またおばあちゃんの孫として生まれたい」とも話している。

ただ、祖母には気性が激しい面があつた。「あんたは借金ばかりついた母親から生まれたんや」。存在

声上げぬ子どもどう把握

初の全国調査へ

通学や仕事しながら家族の介護・世話をする子どもの「ヤングケアラー」をめぐる、政府は今、全国の教育現場で初の全国調査を実施。関係者が本格的な支援の第一歩と歓迎する一方、問題が深刻化する中、国内の実態把握につきまとう課題を探った。【田中裕之・山田泰輔】

無理解に諦め「断絶」

児童・生徒



「相談したいたいけど、みんなが誰とも理解されない」。うつ病とパニック障害の母を中学2年生から就職・独立するまで支えた横浜市の坂本拓さん(29)は、「学生の頃、教師や友人に母のことが相談したことない」「その人に知られたくない」という母の心情と、精神疾患に対する世間の偏見を分かっていたからだ。

坂本拓さんは、「学生の頃、教師や友人に母のことが相談したことない」「その人に知られたくない」という母の心情と、精神疾患に対する世間の偏見を分かっていたからだ。

家事もした。

学校の友人には「お母さんは元気にしていて」と言つて、周囲の無理解への諦めや青春期の羞恥心などをから外部に綱渡しを伝えず、孤立しがちにならざり。

政府の調査では、こうした

児童・生徒をどう把握する

のが大きな課題となる。

精神疾患の家族を持つ

生が双極性障害(ううせきせいしょうがい)の母と過ごした静岡県の26代女性は、「友人や先生に相談したくても、家族から『誰とも話さないで』と口止められていた」と打ち明ける。

実際に学校側に子どもの

ギャップを示した調査結果

ヤングケアラー 幼き介護

調査結果

意識差 支援の壁に

教員

「なぜか気がへりきりかけにならない」と指摘する教員もいるのが現実だ。学校に頼らなければ、ヤングケアラーの数少ない屋場所などならうる一つだ。しかし福祉との連携など組織的な支援体制は整っておらず、ヤングケアラーに関する勉強も始まつたばかり。このため、子どもたちのSPOへの対応や支援は、気づいた個々の教員の判断に委ねられてしまう場合が多い。

「年間で10人ほど『ヤン

クケアラーかな』と頗る子ともに出会う」。関西の中高一貫の進学校で養護教諭をしてしている女性は言う。い

うに「保健室の先生」とは別に、ヤングケアラーの問題を独自に剪貼計り、家庭を介護

する15・19歳は全国で3万7千人(2017年時点)と推計。過去の調査はヤングケアラー問題の全

国的な広がりを示し、政府もやつ

るべき腰を上げた形だ。一般社団法人・日本ケアラー連盟は15年に新潟県南魚沼市、16年に神奈川県横浜市の教頭を対象に調査。藤澤市では「ヤングケアラー」と感じる

児童・生徒と関わったと48・6%

が答える。欠席や学力があがわない▽

遅刻――などの影響が挙げられた。

今年6月、毎日新聞などによるケ

アネージャーへの全国調査で16・5

人が「大人が抱いてしまうような子」が担当家庭にいたと答えて、子

どもの学業や心身の不調が多く指摘された。

精神障害の親と暮らす子ともを支

援する研究者やNPOは15年、埼玉県の公立小中学校の養護教諭にアンケート。「子どもや家庭が応じ

れない場合、対応方法が分からな

い」「学校内で方針がまとまらず支

援が後手に回る」などの悩みが自立

ただ。一連の調査は地域や対象が

限定的で全容解明に至らず、がゆ

さを募らせた関係者から政府に全国の実態調査を求める意見が強まって

ヤングケアラーをめぐる主な先行調査

時期	対象	調査地域・数	実施者
2014年	居宅介護支援事業所	東京都世田谷区164事業所	ヤングケアラーがいる家庭と契約中の世田谷区
15年	小中学校の教員	新潟県南魚沼市271人	ヤングケアラーと感じる児童・生徒に関わった日本ケアラー連盟
16年	小中・特別支援学校の教員	神奈川県藤沢市1098人	ヤングケアラーと感じる児童・生徒に関わった日本ケアラー連盟
	高校の教員	大阪府138人	家族のケアをしていると感じる生徒
	高校生	大阪府5246人	ヤングケアラーと回答
18~19年	要保護児童対策地域協議会	全国849自治体	ヤングケアラーの概念を認識していない厚生労働省
	高校生	埼玉県3917人	ヤングケアラーと回答
20年	総務省の就業構造基本調査から独自集計(オーダーメード集計)	家族を介護する15~19歳	全国に推定3万7100人毎日新聞
	ケアマネジャー	全国1303人	ヤングケアラーがいる家庭を担当した経験あり
	高校2年生	埼玉県約5万5000人	11月に公表の見通し埼玉県

政府は先行して研究者や自治体を行った調査で、ヤングケアラーの介護負担が過度になれば、学校生産や進路などに深刻な影響が生じることが徐々に明らかになっていく。毎日新聞は3月、「総務省の就業構造基本調査を独自に剪貼計り、家庭を介護する15・19歳は全国で3万7千人(2017年時点)と重い腰を上げた形だ。一般的な自治体調査とされるのは14歳以下の家庭で、そのうち23%が「ヤングケアラー」と感じる家庭と契約中」と書いた。

一般社団法人・日本ケアラー連盟は15年に新潟県南魚沼市、16年に神奈川県横浜市の教頭を対象に調査。藤澤市では「ヤングケアラー」と感じる児童・生徒と関わったと48・6%

が答える。欠席や学力があがわない▽

遅刻――などの影響が挙げられた。

今年6月、毎日新聞などによるケ

アネージャーへの全国調査で16・5

人が「大人が抱いてしまうような子」が担当家庭にいたと答えて、子

どもの学業や心身の不調が多く指摘された。

精神障害の親と暮らす子ともを支

援する研究者やNPOは15年、埼玉県の公立小中学校の養護教諭にアンケート。「子どもや家庭が応じ

れない場合、対応方法が分からな

い」「学校内で方針がまとまらず支

援が後手に回る」などの悩みが自立

ただ。一連の調査は地域や対象が

限定的で全容解明に至らず、がゆ

さを募らせた関係者から政府に全国の実態調査を求める意見が強まって

がある。大阪歯科大の濱島淑恵准教授(社会福祉学科)らの研究グループによると2016年、大阪府の公立高

校の教員1538人が、担任のクラスで「この子は家

族のケアをしている」と感

じる生徒の数は全体の1・

5%以上だった。教員が把握

していないヤングケアラー

が相当数いることになる。

政府の調査は、自治体の

聞き取りを想定している

が、「学校がヤングケアラ

ーとそれだけ把握している

かからない。小学校の教

師5216人が、10校

へ上った。教員が把握

していないヤングケアラー

が口止められていた」と打

ち明ける。

実際に学校側に子どもの

ギャップを示した調査結果

を示した調査結果

がある。大坂歯科大の濱島

高

い」(政府関係者)と懸念があり、児童・生徒を直面する

接する方

向で、12月に

調査票を

配つて今年度末まで

どより

いる。最も子供にも近い担任を養護教諭に詳しく述べてほしい」と求めた。

政府は中学校・高校に加え

て小学校も調査対象とする。

児童・生徒を直面する

接する方

向で、12月に

調査票を

配つてほしい」と求めた。

精神疾患の親を持つ人の自

由の聞き取りを想定している

が、担任の

聞き取りを想定している

が、担任の

聞き取りを想定している